

八頭町総合教育会議(第9回) 会議録

一 日 時 令和4年12月26日(月)15:15～17:10
二 場 所 船岡庁舎 1階 庁議室
三 出 席 者 吉田町長 木嶋総務課長
 薮田教育長 山崎委員 上島委員 大上委員 谷口委員
 事務局 新田次長兼学校教育課長、中村社会教育課長
 書記 学校教育課係長 石田

- 四 議事日程
- 1 開 会
 - 2 会議録署名委員の指名
 - 3 町長あいさつ
 - 4 協議事項
 - (1)第2次 八頭町教育大綱(案)について
 - (2)令和4年度全国学力、学習状況調査の結果
 - (3)令和5年度当初予算の基本方針について
 - ・八頭町共通学力検査について
 - ・少人数学級について
 - ・特別支援員の充実
 - ・通級指導の充実
 - ・非常勤講師(町雇用)の継続雇用について
 - ・医療的ケア児の通学支援について
 - ・ICT 支援員の継続配置について
 - ・八頭高等学校生徒下宿費補助金について
 - ・八頭町県外優秀アスリート受入支援事業について
 - ・県外優秀アスリート民間学生寮運営事業について
 - ・スポーツ指導員の継続配置について
 - ・総合型地域スポーツクラブ設立準備について
 - ①拠点作り
 - ②現在の地域スポーツクラブ支援
 - ③部活の受け皿としての新たな地域スポーツクラブ設立
 - ・芸術文化交流プラザ あーとふる八頭について
 - ①未改修教室の整備
 - ②企画展
 - ・社会体育施設の維持管理(大規模な修繕等)について
 - ・保育所図書支援事業について
 - (4)いじめ・不登校の状況について
 - (5)ICT、DX の取り組みについて
 - ・ICT 支援員の継続配置について

- (6) 小学校改修事業について
 - ・郡家西小学校大規模改修
 - ・郡家東小学校長寿命化改修工事
- (7) 船岡児童クラブの改築について
- (8) 各校コミュニティ・スクールの状況について
- (9) 中学校部活動地域移行について
- (10) その他
- 5 その他
- 6 閉会

－ 会 議 の 経 過 －

1 開 会 15:15

2 会議録署名委員の指名

上島教育委員 谷口教育委員

3 町長あいさつ

- ・地域の子も達は八頭町の大きな財産になると思っている。教育現場では一人ひとりの個性を伸ばす教育、ふるさとを愛する教育をして子ども達をひとりでも多く育ててもらいたいと思っている。コミュニティ・スクールも制度化され何年か経っているが、是非そういった部分についても地域の皆さん方で子ども達を大事にして取り組みを推進してもらいたい。
- ・成人式について、今年4月に民法が改正され形態が変わるが、それぞれの自治体で選択肢があるので、八頭町は例年どおり1月3日に「はたちのつどい」として対応させてもらいたい。
- ・コロナが流行し3年が終わるところ。皆さん方もコロナには気をつけてもらいたい。学校現場ではコロナのことでかなり神経をすり減らしてもらっていると思っている。修学旅行等も以前とは内容を変えてもらっていると思うが、コロナ禍の中で苦慮されていると思う。
- ・郡家西小学校も改修工事が3月末で完成する。来年からは東小学校の改修が始まる。ICTの整備を学校にも取り入れているが、しっかり活用できる形で学校現場にも頑張ってもらいたい。

4 協議事項

(2) R4 全国学力、学習調査の結果について

- ・小学校では、平成30年度以来の調査であった理科が大変良かった。しかし、国語・算数はほぼ全国や県と同じであった。
- ・中学校は平均回答率が全国や県と比べても高くなっており、教科の偏りはあまり見られなかった。

(3) R5 当初予算の基本方針について

① 八頭町共通学力検査について

- ・八頭町標準学力調査と知能検査、QU検査は町費で行う。全国学力学習状況調査は国費、とっとり学力・学習状況調査と英検 IBA は県費です。
- ・英検 IBA は英語の基礎的学力をアセスメントするために県が実施しているもので、今までは中2だけを対象としていたが、来年度からは中1から中3までを対象とする。

② 少人数学級について

- ・来年度は小学校の対象はない。中学校が2年生と3年生で計算上2千万円の負担になる。
- ・小学校は令和7年度にかけて段階的に少人数学級が調整されていく。中学校については小学校が調整された後と考えている。

③ 特別支援員の充実

- ・来年度特別支援員数は東小学校5名で今年に比べて+1、西小学校6名で今年に比べて+1、船岡小学校が4名で今年に比べて+1、八東小学校が2名で今年に比べると-1、合計すると今年と比べ+2名お願いしたい。日々の授業が大変な子どもが居るので、是非お願いしたい。

④ 通級指導の充実

- ・西小学校を拠点として、今年度は15名の児童に通級指導専門の先生がマンツーマンで指導を行っている。
- ・送迎について保護者でできない家庭があり、ファミサポが送迎支援をやめられたのでできない児童がいる。現在は、1名の児童が帰りにタクシーを利用している。来年も引き続きお願いしたい。専門的な指導がいるため先生の数を増やすことは難しいので、先生が巡回する方法も模索していく。

⑤ 非常勤講師(町雇用)の継続雇用について

- ・3年度、4年度は八頭町雇用の非常勤講師を八頭中に1名配置している。特別支援学級の授業だけでなく、いろいろな活動にも携わってもらっている。引き続き同じ講師を雇用したいと考えている。

⑥ 医療的ケア児の通学支援について

- ・現在3名の児童を鳥取養護学校への登校支援をしている。100%補助で事業を行っているが、リフト車が古くよく揺れるので更新をお願いしたい。
- ・現在、登校支援には運転手と看護師が朝、八頭町まで来て乗り換えをして自宅まで迎えに行くという非効率なやり方しか方法がない。朝、看護師を出すのが委託事業者も大変なので、町で直接雇用している看護師を2名お願いしている。

⑦ 八頭高等学校生徒下宿費補助金について

- ・令和4年度は6件だが、1件は兄弟が入っているので実際は7名八頭高校に通っている。

⑧ 八頭町県外優秀アスリート受入支援事業について

- ・ホッケー部に県外から優秀な生徒を受け入れている。新3年生については、男子1、女子2、新2年生については男子2、女子1、新1年生は目標として男子4、女子3を計上している。インターハイの主力となるのが、今度の新1年生であることから、良い選手を集めたいという高校側からの要望だった。八頭高校も予算化しているものについて、同じように1/2補助するようにしているが、現在は男子2、女子1となっているので、選手確保に努力している。

⑨ 県外優秀アスリート民間学生寮運営事業について

- ・錬志寮、翠翔寮の管理人と調理員、巡視員について八頭高校と1/2ずつ負担して民間学生寮を運営するもの。

⑩ スポーツ指導員の継続配置について

- ・スポーツ指導員も日々強化について努力している。来年度についても継続配置をお願いしたい。現在、八東小学校と郡家東、郡家西のスポーツ少年団等のホッケー指導をしてもらっている。船岡小学校の児童も開拓したいので、新年1月、2月に体験イベントとして毎週水曜日に出向いて指導する計画をしている。

⑪ 総合型地域スポーツクラブ設立準備について

- ・現在、体育協会とスポーツ少年団の組織があるが、このままの状態では八頭町総合型地域スポーツクラブの規約を作り、運用できたらと考えている。
- ・先般、平井県知事が県議会の席で総合型地域スポーツクラブが部活の受け皿となり得るとコメントされたことが新聞記事になっていた。現在、八頭郡においては智頭町と若桜町に総合型地域スポーツクラブはあるが、八頭町にはないので、郡として受け皿を考えたときにバランスが取れないので、是非八頭町もクラブを組織したい。
- ・令和5年度については、本来設立するのに9/10振興宝くじから補助が出ていたが、来年打ち切りとなる。お金がなくても規約等を整備し、組織作りは可能なので、組織を整備した後は、県からの補助や新設される地域振興宝くじの助成の支援事業について支援してもらえたいと考えている。
- ・男子バレーと八頭ボーイズ(硬式野球)、八頭FC(サッカー)が中学校で部活動がなく、社会体育の部分で組織がクラブチームとして活動している。

⑫ 芸術文化交流プラザ あーとふる八頭について

- ・今年オープンし、来年で2年目となるが、まだ未改修部分がホールとアトリエの部分があるので、計画的に改修工事を考えていきたい。
- ・SDGsの観点から、視覚弱者にも視点を置いて音楽や新しい芸術に触れる機会をとという考えから、あーとふるホールの改修を2年目はしてみたい。
- ・11月の来場者は513名あった。12月については、企画展は因久山焼きのみで138名だった。魅力ある企画展をしないと、橋本興家記念館、本田實記念館だけだと難しい。アンケートの集計結果の中で、あーとふるに求めるもので一番多かったのはピアノコンサートだった。続いて映画上映会も多かった。あーとふるホールに対するものが71%の回答だったので、来館者の期待、要望が集中している

と感じている。今後検討していく必要があると考えている。

⑬ 社会体育施設の維持管理(大規模な修繕等)について

- ・急がれるものとして、船岡トレーニングセンターの多目的グラウンド(野球場)について、現在、違法建築物の撤去命令を指示し、3月末までには撤去する回答をもらっている。ただし、安全対策に支障があるので、スポーツ振興宝くじの事業で交付金が2/3補助金があるので、実現したときのみ検討してもらいたい。
- ・八東ふれあいスポーツセンターの夜間照明(LED)の改修工事が、船岡と郡家を順番でやっているの、次は八東の番になる。
- ・今後、修繕が必要と思われる事業として、八東運動公園の遊具が老朽化しているので、検討してもらいたい。
- ・郡家体育館は今年、屋根の改修工事が終わり雨漏りが改善された。雨漏りにより腐食している床について、来年は使えると思うが、今後床の全面改修が必要と考えている。
- ・今後検討が必要と思われる事業は、野球場がナイターをしなくなったので全部には必要ないが、1ヶ所程度はLED化してナイターに対応できる場所が必要だと思う。郡家運動場については、きらめきまつりの時しか使っていないので、急ぐ必要はないと考えている。
- ・隼プールで公認の大会を開催するためには、プールの内面舗装補修工事が必要になる。地元と相談し、多額の金額をかけることは難しいので、1ヶ月程度開放し、郡予選と隼プール祭りを開催したい。

⑭ 保育所図書支援事業について

- ・鳥取学校図書活用教育推進ビジョンの中にも、幼稚園、保育所、認定こども園等についての学校図書機能を活用することという流れの中で、学校に上がるまでの幼児の部分について図書を利用した学習が重点項目になっている。その中で学校には司書がいるが、保育園にはいないので、学校側に図書館の司書が支援をするより、保育園の先生を支援するべきと言う方向性の中で図書館協議会で協議した結果、従来小学校に予算配分していた図書費用を保育園側に移行して、初年度は5つ保育園があるので最初のセット本について50万円の予算計上し、ローテーションしていく。今後は補填や破損図書の買い換え程度で計画的に事業を進めていきたい。子どもの読書推進計画の中にも令和6年改訂に入っている。力を入れるところを保育所に移したいと考えている。

(町長)聞かせてもらったものは全て要求はしてあるのか。

(中村課長)社会教育課のものは令和5年度の分について要求してある。

(木嶋課長)一つお願いしたいが、費用対効果を最重視するので単純にあつたら良いな、は査定外としている。

予算が11億円足りない。去年あったから今年もお願いするということはありません。費用対効果を示して欲しい。ある予算で最大限の効果を上げてもらいたい。

(次長)言われることはわかるが、教育の部分はなかなか効果がすぐ出るものばかりではないので、効果として示せれないものもあるのが実態として汲んでもらいたい。

(委員)教育は将来の八頭町を背負ってもらう良い子ども達を育てるためには、落ち着いて学習できる学校環境を作らないといけない。学校訪問の際にもどの校長も援員はありがたいと言われる。支援のいる学級だけではなく、通常学級にも支援のいる児童は何人かいるので、学校全体の支援をしてもらっている。参観すると落ち着いて子どもが学習している。支援員の配置はしてもらいたい。

(委員)現職の時も感じたが、支援員を手厚く配置してもらったおかげで、学校経営だけではなく、良い子が育っていると実感して退職した。あれから数年経って、今回各学校訪問する中で本当に良い子ども達が育っていると改めて感じた。それは、支援があったからだ実感している。

退職の際、八東小学校を地域が集いやすい小学校にして欲しいとお願いした。そういう学校になっていると思う。コミュニティ・スクールがこれから機能していけば良いと思う。それぞれが取り組んでおられて、持っているノウハウを校区外に向けて共通理解というかたちで話し合えれば良いと感じた。

非認知能力が一番育つ時期は幼児期と言われていて、遊びの中で育っていく。図書で支援してもらえるのはありがたい。

(委員)通級指導の先生も専門性があり増員は難しいと思うが、保護者と話をする中で、町に期待を寄せていると感じている。

(教育長)通級は県の人事に関連するので要求はしていくが、専門性を持った先生が潤沢にあるわけではないので、なんとか1名押さえて、もう1名お願いしたい。

(4)いじめ・不登校の状況について

①令和4年度 児童生徒の不登校に関する調査

②令和4年度 児童生徒の問題行動等に関する調査

・4月～6月に問題行動、いじめが多く集中しているが、新しい環境になった不安が大きく影響しているように思う。

③やず教育支援センター「みどりヶ丘教室」の通級状況

・一時八頭町の子が多かったが、今は智頭町からも多く通級している。八頭町から小学校1名と中学校5名の計6名、智頭町が小学校3名と中学校5名の計8名、若桜町は中学校から1名で、3町で15名。

・智頭町が多いのはサドベリー(フリースクール)関係で通級している実態がある。

(町長)不登校児童が増えていくのか。

(次長)中学校に行くときに引っ張って上がり、環境が変わって増える傾向にある。

・家から絶対出られない子どもを作らないようにして、少しでも人と交わるところを作っていきたいと思っている。

・その時に学校に行けなくても、進学するときには環境が変わって行けるようになる子もあるので、その時、その時に効果が表れなくても、必ず何かの力になるというところで取り組んでいるので、温かく見守って欲しい。

(委員)みどりヶ丘教室を訪問した際、今までは見るだけだったが、今回は挨拶をしてくれて、ひまわりの種をもらった。挨拶がきちんとできる子育てをしていると感じた。人と交流できることも考えながら指導をされている。体験学習を通して指導されているので、家に居るより通わせた方が良いと思う。

(次長)1週間のうちに学校にも行っているが、みどりヶ丘教室にも来ている子どもも居る。学校でなくても居場所があるところを作るようにみどりヶ丘教室は務めている。

・毎年、智頭町が増えているが移住関係者が多い。

(5)ICT、DX の取り組みについて

・現在は1人1台のタブレットが配付されている。全ての学校で持ち帰りはしていないが、できるところから持ち帰っている。

・今年度はeラーニングを取り入れて、ネット環境がない家庭でもドリル形式でオフラインでもできるような教材となっている。中学校でも来年度は正式に契約してい着たいと思っている。

・ICT環境はすごいスピードで進んでいくが、時間に余裕のない教員にとってICT支援員の助言指導は大変ありがたいので継続配置をお願いしたい。

・DXの取り組みについては、中学校で使用している自動採点システムは好評なので来年以降も使用したいと考えている。

・マンツーマンで英会話していくスパトレは、ネイティブな発音に苦手意識を持たないよう来年度以降も年次的に取り組んでいき、英語に親しみ学ぶ環境を作って行きたいと思っている。これは、町長公約の中にも入れていたと思う。来年度は1年に3回、委託事業として進めていきたいと思っている。

(6)小学校改修事業について

・西小学校大規模改修工事は11月末で進捗率80%となっている。予定どおり進んでいる。

・東小学校長寿命化改修工事は令和5年と6年の2カ年かけて行い、全児童と先生は一斉に仮設校舎に移動し、本体改修工事を行う。

(木嶋課長)長寿命化改修工事設計監理業務委託の設計費がかかりすぎている。

数字について確認してもらいたい。

(次長)確認する。

(委員)長寿命化と大規模改修は違うのか。

(教育長)補助条件が大規模改修より増えるので、違う。

(次長)大規模改修工事の補助がなくなるので、長寿命化しかない。

(7)船岡児童クラブの改築について

・第1船岡児童クラブを解体し、第1船岡児童クラブと第2船岡児童クラブを一緒に運営できる広さの児童クラブを新設する。

・工事期間中の第1船岡児童クラブは船岡地区公民館2Fの視聴覚室で運営予定。

(8)各校コミュニティ・スクールの状況について

・今年度から各校にコミュニティ・スクールを導入した。

・運営協議会は各校2回開催し、第3回を年度末に開催して、今年度の評価や次年度に向けての方針について協議する予定としている。

・委員については各校で人数の変動はあるが、学校に合わせたかたちで委員を決

定し、配置している。船岡小学校については、各地域毎にコーディネーターを配置しており、八東小学校については2名必要とのことで配置している。

(8) 中学校部活動地域移行について

- ・現在まで国から正式な通知が届いておらず、県としては国に対して早急に対応を求めている状況で、本町としては何も進めていない。運動部だけでなく、文化部についても受け皿の確保などが必要となるので移行には時間が必要と考えている。

(1) 第2次 八頭町教育大綱(案)について

- ・元々、教育ビジョンがあって平成27年3月に改訂版を出した。その後4月に教育委員会制度の改正があり、大綱を作らないといけなくなったので平成27年7月に第1次八頭町教育大綱を出している。
- ・令和4年3月に教育ビジョンを出したが、大綱は教育ビジョンの骨格となる物なので、本来大綱があって教育ビジョンを作らないといけない。

(教育長)教育大綱は本会議で諮らないといけないので、内容について今回の案で定めて良いか。

(委員)はい。

(9) その他

(委員)議会で森議員がホッケー場のことを質問された。県の教育長が八頭高校を表敬訪問されて、これからの活躍を期待しますと言われたが、国体まで頑張ってくれということだと感じた。現在競技している子ども達が、鳥取県内に残るような言葉をかけて欲しいと思った。

(教育長)全日本決勝に立命館大学が出ていた。負けたが、八頭校出身者が4名入っていた。

6 閉 会 17:10